

DBオンラインサービスの加入者情報の活用について

DB オンラインサービスでは、加入者や受給権者※の情報を一覧形式で取得することができます!!
掲載される対象者の違いや留意点等について、今後テーマを分けて3回にわたって順次ご説明します。
今回は受給権者情報について説明しました。今回は、以下赤枠内の加入者情報の活用について説明します。
※「受給権者」とは資格喪失済で給付金等の受給の権利がある方のことです。

テーマ	オンラインサービスで作成できるデータ	基準日	掲載内容
1-1 受給権者情報の活用	受給権者台帳	作成する日	「年金受給者」・「繰下者」・「未請求者」の基本情報
	受給権者明細表	指定する日・期間	「年金受給者」・「繰下者」・「支払済者」・「未請求者」の基本情報、および指定期間の支払情報
	繰下げ者仮想個人勘定残高シミュレーション ※	指定する日	年金受給資格があり、繰下利率が変動する「繰下者」の仮想個人勘定残高の将来予測額
	年金額改定シミュレーション ※		給付利率が変動する「年金受給者」の年金額の将来予測額
1-2 加入者情報の活用	加入者台帳	作成する日	「加入者」の基本情報
	加入者明細表	指定する日	
	加入者仮想個人勘定残高シミュレーション ※		「加入者」の仮想個人勘定残高の将来予測額
1-3 給付額計算の活用	給付額計算	指定する日	「加入者」・「繰下者」に支払う給付額
	給付額シミュレーション		「加入者」・「繰下者」に支払う給付額の将来予測額

**次回
(4月中旬予定)**



ご不明な点がございましたら、下記連絡先までお問い合わせください。

年金サービス室

 0120-307081

受付時間：月～金曜日 午前9時～午後5時
(土日・祝日、12/31～1/3を除く)

※ 団体様の制度内容により使用可否が異なります。
(キャッシュバランスポリ制度等が対象)

各データの比較 ※詳細は次ページ以降を確認ください

	① 加入者台帳	② 加入者明細表	③ 加入者 仮想個人勘定残高 シミュレーション
使用目的	現在の加入者の基本情報を確認したい	作成基準年月日（指定日）時点で有効な加入者に限定して基本情報を確認したい	加入者の将来の仮想個人勘定残高(概算額)を確認したい（4年後※まで） （※）詳細は5ページを参照ください
主要な項目	生年月日、入社年月日、 基礎年金番号	生年月日、入社年月日、 標準掛金、補足掛金	再評価率、 仮想個人勘定残高
掲載対象者	<u>現在（作成処理日時点）</u> の加入者	<u>作成基準年月日（過去日付または将来日付）時点で有効な加入者</u>	<u>現在（作成処理日時点）</u> 、キャッシュバラン ス制度の <u>加入者</u>
作成処理後の データ取出時期	翌営業日	当日（入力から約10分経過後に取出可） ※加入者数が多い場合は翌営業日となる場合あり	翌営業日
主な留意点	作成処理日時点で加入日が未到来の加入者は <u>掲載対象外</u> です。 作成処理日時点で将来日付の脱退者は <u>掲載対象</u> となります。（脱退処理にて入力した資格喪失年月日や住所が出力されます。）	作成基準年月日（指定日）を過去の日付または将来の日付にしても、 <u>現在（作成処理日時点）の状態</u> で表示されます。	再評価率が <u>固定利率の場合</u> 、任意の再評価率を作成条件へ入力しても、反映されません。（ <u>固定利率を前提</u> に計算します。）

共通の留意事項

- データを加工する場合は、データファイルの拡張子としてエクセル（.xlsx）を選択のうえ保存してください。
CSV（.csv）のままですと、保存しても加工した内容が反映されません。
- 該当のデータをCSV（.csv）のまま使用すると、年月表示のデータ項目が（mmm-yy）形式から d-mmm）形式と判断され表示されてしまいます。
例）「Oct-22」は本来2022年10月ですが、10月22日となってしまいます。（XXXX/10/22）

①「加入者台帳」

(参照：オンライン操作マニュアル 第9章 1 - 3)

現在の加入者の基本情報を確認することができます。

■ 次のデータファイルが作成されます。

a.「加入者台帳」

現在の加入者の生年月日、入社年月日および基礎年金番号等の基本情報を確認できます。

将来日付の脱退者（現在は加入者）は、脱退処理にて入力した資格喪失年月日や住所を確認できます。

b.「加入者台帳_履歴」

（給与比例・ポイント制のキャッシュバランス制度の場合）

仮想個人勘定残高算定用の基準給与（ポイント）の履歴を確認できます。

（休職により資格喪失する制度等の場合）

前加入時や休復職の履歴を確認できます。

■ 作成方法について

1. オンラインサービスのトップ画面の「帳票作成」から「加入者台帳作成」を選択します。
2. 作成条件（出力順、作成形式）を入力します。
3. 翌営業日に「帳票取出一覧」よりデータを取り出しできます。

作成条件

● 事業主単位で作成する 翌営業日に出力されます。

事業主番号	001
出力順	現在登録している出力順 ▼
作成形式	PDF・CSVデータ（帳票取出） ▼

■ ご注意ください

・追加加入手続き済であっても、加入日が未到来の加入者は対象外です。

②「加入者明細表」

(参照：オンライン操作マニュアル 第9章 1 - 9)

特定の日付を指定して、加入者の情報を確認することができます。

■ 次のとおり加入者データを作成することができます。

指定した基準日（作成基準年月日）時点の加入者の基本情報を確認することができます。

その「作成基準年月日」時点で有効な（資格喪失していない）加入者が出力されます。

なお、「作成基準年月日」時点の状態ではなく、「**作成処理日**」時点の状態（加入者、資格喪失者等）で表示されます。

■ 作成方法について

1. オンラインサービスのトップ画面の「帳票作成」から「加入者明細表作成」を選択します。
2. **作成基準年月日**を入力します。
その他、出力順、作成形式を入力します。
3. 入力した**当日（入力から約10分経過後）**に「帳票取出一覧」よりデータを取り出しできます。

作成条件

事業主番号	001
作成基準年月日	▼ □年□月□日
出力順	現在登録している出力順 ▼
作成形式	PDF・CSVデータ（帳票取出） ▼

■ ご注意ください

- ・追加加入手続き済であっても、指定した基準日（作成基準年月日）時点で加入日が未到来の加入者は対象外です。
- ・指定した基準日（作成基準年月日）を過去の日付または将来の日付にしても、加入者の状態は現在（作成処理日時点）の状態が表示されます。

③ 「加入者仮想個人勘定残高シミュレーション」※

※キャッシュバランス制度を採用している
団体様が対象です。

(参照：オンライン操作マニュアル 第11章2-8)

指定した基準日時点の加入者の仮想個人勘定残高（概算額）を確認することができます。

■ 次のとおり予測額（概算値）データを作成することができます。

指定した計算基準年月日（処理日より4年後の直後（当日含む）の再評価年度末※まで指定可能）における、加入者の仮想個人勘定残高の**予測額（概算値）**を確認することができます。

（※）再評価年度末：仮想個人勘定残高の利息付与率にあたる再評価率の適用期間の末日です。

■ 作成方法について

1. オンラインサービスのトップ画面の「シミュレーション」から「加入者仮想個人勘定残高シミュレーション（一括）」を選択します。
2. 作成条件（計算基準年月日、作成形式、再評価率（任意））を入力します。
3. **翌営業日**に「帳票取出一覧」よりデータを取り出しできます。

証券番号（団体番号）

作成単位 証券番号（団体番号）単位 事業所番号 ※「事業所単位」を選択した場合に入力ください。

計算基準年月日 年 月 日 ※本日より4年後の再評価年度末の日まで入力できます。

作成形式

拠出ポイント区分	再評価率※1	拠出ポイント年間変動率※2
1	%	%
2	%	%
3	%	%

※再評価率を指定した場合、再評価率が確定していない年度に対し適用して算出します。指定しない場合は現行利率を計算基準年月日まで適用して算出します。

■ ご留意ください

- ・再評価率が固定利率の場合、任意の再評価率を作成条件へ入力しても、反映されません。（固定利率を前提に計算します。）